



仁戸名 学校だより

1月号 (No.9)

平成24年1月20日(金)

千葉県立仁戸名特別支援学校

<http://www.chiba-c.ed.jp/nitona-sh/>

E-mail: nitona-sh@chiba-c.ed.jp

虹

校長 福井 友一

こんにちは。2012年という新たな年が動き始めました。皆様の御多幸を心からお祈り申し上げますとともに、引き続き本校の教育に御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

1月10日(火)と11日(水)の2日間、本校と四つの病院で3学期の始業式が行われ、新たな出会いや変化への期待に満ちた子どもたちの笑顔を前にすると、私の中にも自然と元気が湧いてきました。

曜日と祝日の関係で今年の冬休みはちょっぴり長かったのですが、その最後の日は、成人の日でした。今年の新成人の数は122万人で、5年連続で過去最少を記録したそうです。彼らは、1991年4月2日以降に生まれた若者です。

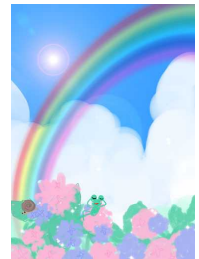
その1991年という年は、5年余りに及ぶ日本の「バブル景気」の終わりであり、1973年から続いてきた経済の安定成長期の終わりであり、「失われた10年」とも「失われた20年」とも言われる、その後の長い経済的(或いは政治的)混迷の時代の始まりでもありました。こうした時代に、彼らは生まれ育ってきたのです。

百科事典によると、「バブル景気とは、実体経済から乖離して資産価格が一時的に大幅に高騰し、その後急速に資産価格の下落が起こる様子が、中身のない泡がふくれてはじける様子に似て見えることからこのように呼ぶ」とあります。

或る保険会社がゴッホの絵画『ひまわり』を55億円で購入したり、或る不動産会社が約2千億円でニューヨークのロックフェラーセンタービルを購入するなど、潤沢な資金をもとに日本企業が国内外の美術品や不動産を買い漁ったニュースや、日経平均株価が2万円の大台に乗ったその翌年には3万円を突破し、さらにその翌年の1989年末には3万8千9百15円の最高値を記録(現在は8千5百円前後)したニュースなど、大半の大人は今なお記憶に新しいのではないのでしょうか。また、就職内定者を他社に取られないように研修と称して国内外の旅行に連れ出したり、新卒の年収が1千万円という企業が現れるなど、就職難にあえぐ現代の若者にとっては、夢のような現実があったのです。

ところで、岩手、宮城、福島3県の新成人を対象に行った或るアンケートで、一番大切と感じるものの一位は「家族」で、「お金」を大きく上回ったという記事に出会いました。「復興に自ら役立ちたい」とする回答は85%に上り、仕事やボランティアを通じた地域貢献に高い関心が示されていました。バブル景気の恩恵に微塵も浴さず、日本が雌伏の日々を送っている時代に成人となった彼らに、時代の新たな担い手としての期待を寄せるのは私だけではないと思われまます。東日本大震災により日本人の価値観が大きく変化したと言われますが、若い世代を中心に、地に足の着いた新たな価値観が生まれつつあるような気がしています。

本校の学校教育目標の後半部分は、「・・・疾病の安定を図りながら人間相互の理解と協働、自主及び自立の精神を養い、新しい社会の形成者として、明るくたくましく生きることのできる調和のとれた人格の育成と向上に努める」というものです。学校要覧の一隅にしまわれがちな学校教育目標ですが、年の初めにあらためて読み返してみると、奥行きに驚かされます。そして、今春はそうした思いもひとしおでした。そこで、3学期の始業式での話の最後を次のように締め括りました。「年があらたまり、それぞれに新しい時間が動き始めましたが、皆さんはこれからの新たな時代の担い手でもあります。仲間とともに手を携えて新しい時代を創ってほしいと願っています。そして先ずは、進級や卒業を控えた3学期の学校生活が、未来につながるかけがえのない日々となるように、一歩進み出してください。」



「新年を迎えての抱負」特集



小A

小学部では、今年の抱負をそれぞれが川柳にし、17日の「新春ACなかよし集会」で紹介しました。「がんばろう はやく病気が 治るよう」「今までの 漢字全部 覚えたい」「早く寝て おそねおそ起き 克服だ」「お料理が うまくなりたい がんばるよ」「好ききらい ぜったいなくす 今年こそ」「食前の うがい手洗い わすれない」「今年こそ 暗算速く 正確に」「県大会 絶対出るため 練習だ」「十の十 うがい手洗い がんばるぞ」などと、決意の様子がみられました。

初めて川柳作りに挑戦した児童もいましたが、みんなあれこれ考え、自分の気持ちや希望にぴったり合う川柳ができたようです。各々の決意や意欲を感じます。抱負や目標をしっかりとて、それに向かってスタートしてほしいと思います。

さて、私事で恐縮ですが、私は新年、1月が好きです。周囲の世界も私の細胞も全て新しくなったような新鮮さを感じ、わくわくするのです。先日、テレビで、人間の細胞は28日間で全て入れ替わって新しくなると言っていました。新年を迎え今年は何をしようか、何ができるか、子ども達と一緒にわくわくしながら取り組んで行きたいと思えます。(小学部担任 木滝 千代子)

中A

2012年、新しい年、3学期がスタートしました。今週は、中学部1・2年生は新年の行事「中高百人一首大会」があり、3年生は私立高校の入試が始まりました。

3名の転入生も加わり、体調や学習状況などそれぞれに異なる中、この時期、「今、必要な事」に生徒が精一杯取り組めるよう、皆で協力して進めているところです。「仁戸名ならでは」を生かし、自分の力を十分発揮できる1年になって欲しいものです。

私は生徒と一緒に活動の一つとして、体育の授業に参加することがあります。バドミントン・卓球等相手がいた方が良い種目の時は、へたながら加わることで生徒の他の一面を見ることができるとの楽しみなのです。体をほぐし、生徒の動きや気持ちについていくため、「テレビ体操を行う」を抱負にしました。生徒と一緒に活動できる機会を今年も大切にしていきたいと思えます。(中学部主事 杉田 裕喜枝)



高A

平成24年1月1日、私は仁戸名に来て初めての元旦を迎えました。家族と共に御来光を拝み、健康を祈願しながら、心を新たに明るく誠実に生きていこうと決めました。

私は「しあわせ七変化」という言葉が好きです。つらいときはその言葉を思い出します。「①自分が変われば 相手が変わる。②相手が変われば 心が変わる。③心が変われば 言葉が変わる。④言葉が変われば 態度が変わる。⑤態度が変われば 習慣が変わる。⑥習慣が変われば 運命が変わる。⑦運命が変われば 人生が変わる。」＝“心”が変われば“全て”が変わる。だから人は必ず幸せになれる。この言葉が私のパワーの源です。

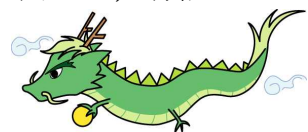
いろいろなことを乗り越えて本校で過ごした日々が生徒たちの大きな力となり、心豊かに社会に羽ばたくことを目指し、高等部一同努力していきたいと思えます。

本年もよろしくお願ひ申し上げます。(高等部担当 川井 千鶴)

B学級

今年辰年です。「辰・龍は川の流に姿が似ていて、ときには洪水を引き起こす凶暴なイメージもあるが、雲を起し、恵みの雨を呼ぶ神でもある。」とのこと。仏法の守護神として、寺の法堂天井に描かれたり、奈良キトラ古墳壁面には、青龍が天の東方を司る神として描かれたりしています。

辰年の今年、皆が幸福に過ごせることを願っています。そして、B学級の児童生徒が健康に過ごせること、9名の高等部3年生が卒業に向けて、これからも様々なことを経験し、充実した時を過ごし、楽しい思い出をつくって無事に卒業できることをねがっています。(B学級主事 高峯 則子)



C学級

「たくさんの笑いのある生活を」

「笑いは自己免疫力を高める効果がある。」ということは、近年よく言われることです。自己免疫力が高まれば、ウィルスや細菌の進入を撃退する働きが増すというわけです。逆にいうと、人が落ち込んだり憂鬱な気分だったりすると、その働きは低下するのかもしれない。

訪問学級では、児童生徒そして保護者のみなさんに笑いのある生活を送ってもらいたいと思っています。大声で笑える状況ではないこともあると思います。そんなときは、笑顔を作るだけでも良い効果があるそうです。「鏡を見て笑顔を作る。」それだけでリフレッシュできるのだそうです。

みんなで、たくさんの笑いのある生活にしていきましょう！

(訪問学級主事 池田 正樹)



教務主任から

「春はもうすぐ」

新年を迎えて、気分一新。気持ちを入れ替えて、子どもたちと毎日楽しく充実した日々が送れるようにしたいものだと思います。気がつけば今年度も残り3か月。あんなこともしたい、こんなふうにできたらいいなと思ったことがどれだけできたかなと思うと、心もとないばかりです。成長の跡がはっきりと分かるのは、私のお腹の周りの充実ぶりだけという情けなさ。それでもめげずにできることからやっといこうと決意しています。

日々の暮らしの中で、自分の変化や成長はなかなか自覚できません。しかし、久しぶりに会ったり、1年前のことと比較してみるとその変化が分かりやすいようです。「自分の成長を実感する」ことは、さらなるステップアップのためにとっても大切だと思います。卒業式や修了式の日「今年度もがんばったぞ」と胸を張っていえるように、切磋琢磨していきたいと思っています。寒い冬が過ぎれば、もうすぐ春が来ますからね。

(市川 豊)

事務室から

昨年は、例年にまして大変暑い夏でした。また、原発事故の影響で節電・計画停電等を強いられ、日本中が大変な思いをしました。本校においても、節電のため様々な面で不便な学校生活をおくることになり、御迷惑をおかけしました。

お陰様で、電力使用料は前年度比20%以上減となりました。皆様の御協力に感謝申し上げます。

さて、千葉県の特例支援学校においては、体温調節の難しい児童生徒に配慮した教育

環境の整備のために空調設備の充実をしてきました。本校においても、すでに普通教室全室に設置されていますが、今年度新たに特別教室等合計9室に設置することになり、1月14日から工事が開始され3月中に完成の予定です。工事中御迷惑をおかけいたしますが、御容赦ください。

これで児童生徒が使用する校内のほとんどの部屋が涼しく過ごせるようになります。その一方で、原発事故による影響は続きます。今後も節電に御協力をお願いします。

すこやか

～ 保健室コーナー ～



今年度の冬休みは、元気に過ごせたお子さまが比較的多く、お家の方々の御配慮のお陰と思います。今月に入り、毎日「この冬一番の冷え込みです」という天気予報が出るくらい気温が低くなっています。かぜのウイルスは、気温15度以下、湿度40%以下の環境を好むので、学校では室温と湿度に気を配っていますが、個人差もありますので、衣服の調整、カイロや膝掛けの活用、多めの水分補給等も工夫しましょう。

寒い中登校するため、朝の健康観察は丁寧をお願いします。睡眠時間、朝食の摂取、服薬、通学生は検温をし平熱であるかどうかの確認等を励行し、無理をせず、いつもと違う状態がある時には、学級担任へお知らせください。

千葉市の感染症の状況ですが、1月に入りインフルエンザ患者の増加は見られません。今までに発症された方の検査結果では、91.8%がA型、香港型が多く見られるそうです。

全県では、保健所管轄別統計で山武・松戸・印旛・市原の発生件数が高く、A型2/3・B型1/3の割合のようです。

感染性胃腸炎も増加は見られませんが、引き続き予防に十分留意するよう県教育委員会から通知が来ていますので、手洗い・うがい等をよろしく願いいたします。



2月の行事予定



日	曜	行事予定	日	曜	行事予定
6	月	高A卒業テスト（～10日）	22	水	小AC学力テスト（～23日）
7	火	開かれた学校づくり委員会	22	水	小AC学力テスト（～23日）
14	火	高等部入学者選考（～15日）	23	木	中AC学期末テスト（～29日）
18	土	ジョイタイム	27	月	中A卒業テスト（～28日）
21	火	高等部入学者選考発表			高AC学年末テスト（～3/2）